

朝倉駅周辺のまちづくりについて

平成 30 年 7 月 14 号



朝倉駅周辺整備事業推進委員会(第1回、第2回)を開催しました。

平成30年3月に策定した「朝倉駅周辺整備基本構想」の具体化に向けた取組を、全庁的な体制で推進するため設置した「朝倉駅周辺整備事業推進委員会」について、平成30年5月10日に第1回委員会、6月6日に第2回委員会を開催しました。

第1回委員会の概要

委員会開催にあたり、宮島壽男市長の挨拶の後、朝倉駅周辺整備事業推進アドバイザーの椋山女学園大学 村上心教授から講話をいただきました。

(宮島壽男市長)

公約の一丁目一番地である朝倉駅周辺整備事業の具体化に向け、解決しなければならない課題はたくさんあります。

市民の皆さんに喜んでいただけるまちづくりを進めるため、構成員の英知を結集し、協力して課題に取り組んでください。

(椋山女学園大学生生活科学部 村上心教授)

現在の朝倉駅前には寂しい印象を受けますが、鉄道駅やインターチェンジ、市役所が立地する市の機能の中心地であり、ポテンシャルを十分に秘めています。

市職員一人ひとりが主体的に、市民のことを考えながら、この事業に取り組んでほしいと思います。

また、民間活力を導入する公民連携手法や、公募を行う際に事業者の提案を募るための実施方針等を検討していくことを確認し、関係課室の業務内容についても検討を行いました。

第2回委員会の概要

公民連携手法について検討するとともに、地区全体が統一的で誰もが使いやすいものになるよう、景観・環境づくりの方針について検討を行いました。

* 公民連携手法…公民が連携して公共サービスの提供を行う手法。

* 公募…事業を実施する民間事業者を広く募集すること。

* 実施方針…事業の概要や、事業者公募に関すること、立地条件や整備する施設の規模等を定める方針。

景観・環境づくりの方針について

【地区全体】

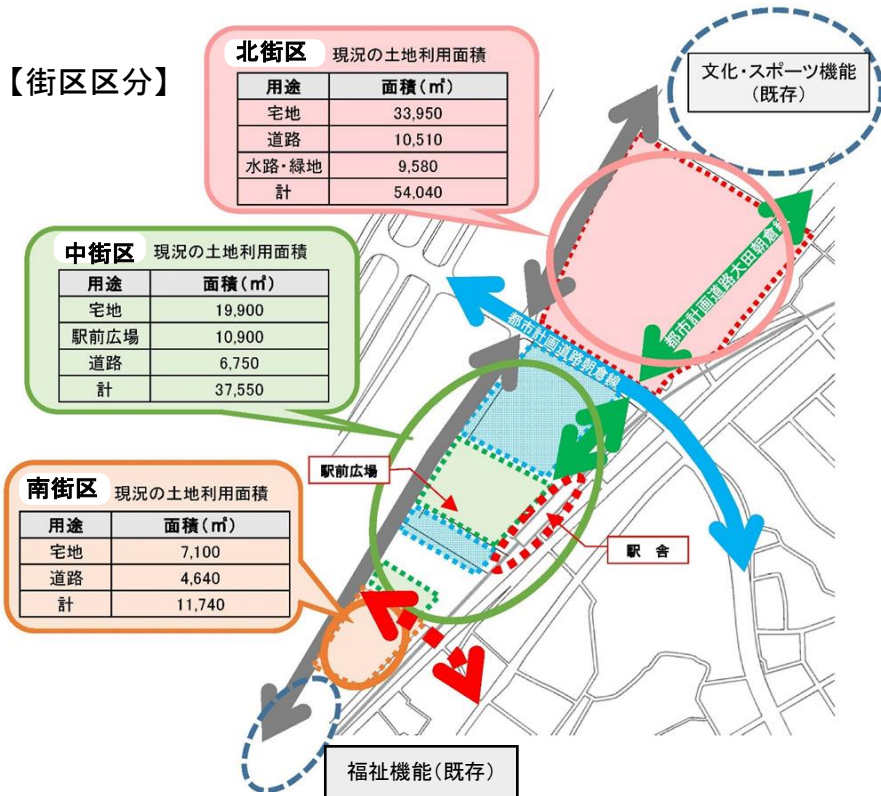
■まちづくりのコンセプト

知多市の玄関口に
ふさわしい“顔”づくり

■景観・環境づくりの方針(案)

1. 圧迫感のない、開放的なデザインの統一
開放的な雰囲気、統一的な地区全体のデザイン
2. 眺めを意識した敷地の構成
街区を貫く景観(視線)軸、
駅舎や駅前からの眺めを楽しめる建物等の配置・デザイン
3. 誰もが使いやすい環境づくり
快適で使いやすいユニバーサルデザイン

【街区区分】



■整備方針

■景観・環境づくりの方針(案)

【北街区】

市民の多様なニーズに
応えられる知多市の商
業・交流・にぎわい拠点

1. “たまり”(滞在・回遊)の空間を形成する
多機能なオープンスペースを確保し、楽しみながら回遊・滞在できる空間
2. 空間をゆるやかにつなげる
植栽やベンチなどの設置でゆるやかな敷地境界を設定
3. 公共空間をうまく使いこなす
歩道を利用したイベント等でのにぎわいを演出

【中街区】

計画対象地区の中核的
役割を担うとともに、
知多市の玄関口にふさ
わしいにぎわいを形成

1. 来訪者の玄関としての空間づくり
シンボリックなデザインと一体感のある空間
2. 周辺に目を向けた駅前広場の機能の工夫
安全で分かりやすい動線や効果的な夜間照明
3. 立ち寄りやすい利便機能の確保
行き交う人が気軽に立ち寄れるよう、低層階へ店舗等を配置

【南街区】

市外から人を呼び込める
ような新たな定住拠点

1. 高質な居住空間づくり
居住者が集える公園・広場などの快適な空間、歩道への植栽などによる高質な居住空間
2. 円滑な移動環境の確保による中街区等との連絡
中街区等へ円滑なアクセスに配慮した施設配置、夜間照明による安全の確保

今後の予定

第3回委員会を、8月中旬に予定しています。

ご意見・問合せ：
都市計画課朝倉駅周辺整備推進室
電話：0562-36-2667
E-MAIL：asakura@city.chita.lg.jp